



会長	紺野 広	青少年奉仕	夏川戸 齊
副会長	橋本 昭一	幹事	松本 剛典
クラブ奉仕		会計	妻神 和憲
会長エレクト	橋本八右衛門	会場監督	佐々木泰宏
職業奉仕	道尻 誠助	直前会長	小林 幹夫
社会奉仕	岡崎 孝文	副幹事	小田山紀暢
国際奉仕	鶴飼 寿栄	会計補佐	小井田和哉

例会日	毎週水曜日 12:30	例会場	八戸グランドホテル
事務所	八戸市番町14		八戸グランドホテル内
	電話 (43) 0608	FAX (43) 0661	
	e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp		
	http://hachinohe-rotary.org/		
会報・広報委員長	峯 正一	同副委員長	上村 奉樹
同委員	妻神 和憲	同委員	野村 一雄

国際ロータリーのテーマ — 2023~24 — 八戸ロータリークラブのテーマ
世界に希望を生み出そう **和而不同 (わじふどう)**

国際ロータリー会長 ゴードン R.マッキナリー

八戸ロータリークラブ会長 紺野 広

10月 は 米 山 月 間 で す

————— 第3288回例会 2023.10.4 —————

会長要件 紺野 広 会長



来週はお休みで、再来週18日は予行の第2回目をして、20日から地区大会の予定となりました。いよいよ待ったなしです。来週例会がないこと

もありますので、各委員会、各自、それぞれで自分の持ち場の仕事を全うしていただきご準備していただき、足りない部分はぜひお願いしあって、補いあって遅滞のないよう、齟齬のないよう、お願いしたいと思います。

その翌週25日には地区大会慰労、ガバナー公式訪問がわれわれのところでは最後になる予定ですので、築館ガバナー、石橋地区幹事長の慰労をしたいと思います。忙しいですが、その日の夜はお楽しみに、みんなでもうひと頑張りできればと思います。

入会式 ^{たむらのりよし} 田村礼吉 (株)青森銀行執行役員
八戸支店長兼三日町支店長

推薦者からの紹介 紺野 広 会長
お父さんは八戸東RCに入られていたそう

です。八戸高校ではサッカー部で松本幹事の2年上です。八戸に縁のある方です。小さい頃はクリスマス例会でロータリーソングを歌っていたそうです。職場に入られてからはロータリーに入会するのは今回が初めてですので、ご指導のほどよろしくお願ひします。

・バッチ伝達：
新会員挨拶 田村礼吉さん



工藤前本部長から引継ぎを受けまして、本日から会員ということで参加させていただきます。従来ですと八戸地区営業本部長である者が今まではロータリーに参加させていただいておりましたが、今回からは八戸支店長が担当するようという指示がありまして、今回参加させていただきます。何とか出席率を高めながら貢献していきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

幹事報告 松本 剛典 幹事

○ロータリーレートのお知らせ 10月1日よ



り、1ドル=149円

○ハワイマウイ島の山火事支援寄付金のお願いの封筒が回っていますので、なにとぞよろしくお祈いします。

○来週11日(水)の例会は、スポーツの日の祝日につき休会となります。

○事務局よりお休みのお知らせ

10月10日(火)午前、お休みをさせていただきます。午後から出社いたします。ご迷惑をおかけしもうしわけございませんが、よろしくお願い申し上げます。

委 員 会 報 告

親睦・会場委員会

宮下 悟委員



○ニコニコボックスの報告

・誕生祝 赤澤栄治

栗谷川敏彦・渡部 充さん
小林幹夫さん 田村様、ようこそ八戸ロータリークラブへ！

小井田和哉・岡崎孝文さん ニコニコデー

地区大会実行委員会

妻神和憲実行委員長



大会2日目10月22日(日)のさかなクンの講演会はお陰様でチケットの売れ行きもたいへんよく、募集から2週間ちょっとで1,000席はあっという間に満席になり、現在キャンセル待ちの応募、当日何とか入れてもらえないかなど、いろいろな方面からさかなクン見たいというリクエストをいただいています。

従来は地区大会2日目は地区関係者とパストガバナーなど、せいぜい残っても100人に満たないくらい的人数ですが、今回は一般のロータリアンも多くの方が残って、希望の募集をとりましたところ240~250人の参加となっています。協賛いただいた皆さま方にチケットを配らせていただきましたが、そういう方々を入れて現在1,300~1,400人くらい会場にお越しになるという形になっています。

われわれとしましては、とにかく会場での混乱、トラブル、事故、けがなどないように、万全の配慮をしなければいけない。危機管理をしっかりとしなければいけないということで、コホストクラブにも声かけをして各クラブから5名ほど出していただきたい旨のお願いをしています。

他のクラブにすると他人事、それに対して二つ返事ですべてに協力というお話になっていないのが現状です。中には八戸クラブは人数が多いので自分たちでやれという声も聞こえてくるところもあります。やはりわれわれの中で二日目に参加していただける方にはぜひともそういった会場誘導などのお手伝いをやっていただくようにしていかなければと思っています。わたしの年齢と同等もしくは下の方々にはそういったお手伝いをお願いしたいと思っています。

これからお名前をお呼びする方々には外の方の会場の整備、ホールの中での観客誘導などのお手伝いをしていただければと思います。呼ばれた方は当日そういう仕事があるということでご準備をよろしくお願いします。

松本剛典さん、浜谷英幸さん、上村奉樹さん、鴨澤 諭さん、小林幹夫さん、小田山紀暢さん(裏方)、小井田和哉さん(裏方)、今さん、栗谷川敏彦さん、増田 敏さん、宮下さん、村舘珠樹さん、夏堀礼二さん、夏川戸齊さん(夏川戸さんは会場委員会委員長ですので、夏川戸さんの指示でこちらの司令塔でよろしくお祈いします。)岡崎孝文さん、妻神和憲、正部家光彦さん、竹石 雄さん、堤さん、渡部 充さん、渡辺 孝さん、山村和芳さんの方々をご指名させていただきます。

当日無理な場合は妻神までご連絡をお願いします。

他のクラブから15~20名くらいのお手伝いがきて、だいたい40名くらいの体制で観客誘導、さかなクン整備委員会ということで進めていきたいと思っています。とにかく事故のないように、東京海上の傷害保険もしっかり入って、万全を期して進めて参りたいと思っています。何卒当日はお手伝いのほどよろしくお祈いし

ます。

本日、例会終了後、総務委員会で集まり、各自細かい打ち合わせ等進めて参ります。その中で、今自分が所属している委員会の中で聞いておきたい、こうしたいああしたいというのがありましたら、事務局におります総務までご連絡いただければと思います。

ロータリー情報委員会 道尻誠助委員長



「ロータリーを楽しんでいますか」

ロータリー情報委員会からのお知らせは1つしかありませんので、最後のほうでお話したいと思います。ロータリーを楽しんでいますかと問われますが、情報委員会ではなかなか“楽しい”ということはないので、真面目な人たちが頑張っている委員会です。

頭の体操をします。7月に東京に行って、汗をたらたらたらしながらウインドウショッピングをしました。果物屋さんにエアコンが効いているだろうと思って入りました。中を見ていたら山形産のサクランボと目が合ってしまった、サクランボを買いました。レジに「当店は現金ではお支払いできません。」とありました。では何を使って払ったか？ ツケもいいですね。ダンシングマネー。カイトウルパン。回答は実は果物屋なのでスイカで払ってきました。

わたしは2003年4月に種市良意先生のご推薦をいただいて八戸ロータリークラブに入会することができました。が、普通の方と違ってなかなか、しょっちゅう例会に出ている人間ではなく、新年度の初めの4月例会、納涼例会、クリスマス例会、最終例会と年に4回くらいのペースの出席と、あまりいい会員ではありませんでした。

ちょうど1年先輩には佐々木泰宏さん、築館智大さんがいらっしゃって、お二人ともピカピカピカッと輝いていました。もう一人の方はピカピカピカッとさらに輝くという感じのお二人でした。わたしはなかなか例会には参加しないで、ずっと10年近くそういう状態

が続きましたが、今は亡くなった大先輩から「あんたはおばけみたいだね。たまに出てくる。」と言われました。今にして思えば叱咤激励してくれたと、ありがたい気持ちになっています。

パフツとした生き方をしていました。仕事もそうでしたが、ロータリー生活そのものもひじょうにブランクがありました。皆さんは“パフツと”というとうとうふうにイメージしますか？ 例えばメダカでいうと、列を作ってもあちこち動くようなメダカのことです。例えばどじょうでいえば、最後を泳いでいて、他のドジョウがくればドウジョ、ドウジョと譲るような感じ。ただ元気のないドジョウはドジョウ鍋にはあまりふさわしくありません。活気のないドジョウです。

この経験からわたしが気が付いたことがあります。こうなりたいというビジョンをもって行動していかなければ、パフツとした生き方をしていれば、2年後3年後に人間の成長がすごく差がつくことを教えられました。それをきっかけにまた例会に参加するようになったということです。

何が気になっていたかという、パフツとしたロータリー生活の中でも何か「四つのテスト」がどこかにひっかかっていました。四つのテストに合格する人はどんな人なんだろうかと思い始めたら、ちょっと楽しみが増えてきて、そういう人に会ってみたいと思い始めました。先輩方にもとうとう方がいらっしゃいました。

これをいろいろ調べていくと、四つのテストは一つ、二つ、三つ受かったからいいというものではなく、四個がセットだとどこかのガバナーが書いていた記事に出会いました。そうするとこれは4つひっくるめて初めてパスしたことになるんだろうと一気に自分自身のハードルが上がってしまいました。自分自身、すごく生半可な部分があったので、すごく悪戦苦闘しております。

現在も本当かな？「真実かどうか」お前はうそをついてないかと自分の中で問い合わせてたり、「みんなに公平か」自分の中のことは

でかみ砕いたり、自分のことだけ考えているんじゃないか。そうするとこれはきょうは違うということがけっこうあります。これは仕事でも自分のプライベートな部分でも、そういうことが常にまだまだ。テスト合格というところまでいっていないのが現実です。

ただこの「四つのテスト」は今の人類がこれに挑戦したら、戦争もなくなり平和な穏やかな世界ができるのではないかと感じることはあります。ロータリーはいろいろな活動をしています、もしかして世界のリーダーたちとこういう話ができるR I会長が出てくれば、もしかしてという感じがありますが、皆さんいかがでしょうか。

日本のロータリークラブの会員数はマックスで1996年130,982人だそうです。それをピークにして今年の7月現在は83,605人と、マックスより47,377人減っています。これはいろんな原因があると思いますけれども、単純に考えてこんな声が聞こえてくるかもしれません。毎年同じような奉仕活動をしている、繰り返している。若い会員が入ってこないし、人は減ったし。ロータリーは変化しないし魅力もないし。むかしの良さがなくなってきた。ロータリーって必要な、という心の声が聞こえる場合もわたし自身もありました。

ただその変化はロータリーだけではなく、ふだんの生活の中でも仕事の中でも、それについて行かなければ取り残されるのは普通です。その変化をわれわれはビタミン剤だと思って受け入れていかなければならないのではないかという感じがしています。ロータリーは“守ること”と“変化すること”をどちらも必要なのだらうと思っています。

ロータリーの生活をする中で、例会やいろいろな奉仕活動で知識はいろいろ得られますが、それを生かす知恵もなければバランスが取れていないような感じがします。さらに行動に移して実践することで初めて一つの完成形になると思います。どの部分もひじょうに必要なし、それを一つの流れとして保ち続けられれば、会員の活動そのものも、いろいろ

得られるものも違ってくるのではないかと考えています。

知恵についての余談ですが、こうもりは5、6年前にどのくらいの移動距離があるか、日本では青森から京都に移動した記録はありません。世界ではつい去年、ロシアからヨーロッパのアルプスまで2,400km移動したこうもりが発見されました。こうもりそのものは小さい7gくらいの1才のメスでしたが、たまたますごい能力があることを思いました。

ただこうもりは天井にぶら下がって、フンをするとき自分の顔にかからないようにちょっとおしりを出します。ただフンそのものはそのままになっている状態で、毎年フンが積み重なっていく習性があります。一方スズメは巣箱の中に雛がいると、親がぜんぶフンを加えて外に出して、常に巣箱の中はきれい。哺乳類と鳥類ですが、フンでも扱い方が違う。これをうんこちしん（温故知新）といいます。ひじょうに学ばせてもらっています。

今年のR Iの研修スタイルの変更があります。今までトレーニング、研修、講師がいてそれを聞いてというパターンだったのですが、新年度より一緒に参加しながら議論しながら、体験しながらラーニング（学び）へ名前が変わりました。training（トレーニング）とlearning（ラーニング）の違いはstudyとlearn. これからいろいろな印刷物も〇〇トレーニングだったものが〇〇ラーニングに変わります。

内容重視の研修から参加するというスタイルになります。来年の地区大会はもっともっと変わった内容になると思います。印刷物や呼び方が変わります。

「ロータリーの友10月号について」

ロータリーの友委員会：永澤 信委員

今月は地域社会の経済発展月間、米山奨学月間です。

P 5 R I会長メッセージ「メンタルヘルスに取り組もう」

いろいろ世界を歩いていると各クラブでメンタルヘルスにどうやって取り組むのだろうかという質問を受けるそうですが、それに対する回答ということで事例が2つほど載っています。フィリピンでの事例とアメリカコロラド州のクラブの事例です。

コロラド州の記事を読むと最近あるロータリーの分野特化型ロータリークラブを作って取り組んでいるようです。分野特化型のクラブを作って、精神科の病院の医師を支援する。基金まで作って、基金は2年で50万ドルの基金が集まって、それを資産運用しながら、運用益等も精神科病院に提供して取り組みをしている。そういうことが書いてあります。

メンタルヘルスにはいろいろな取り組みがあるのかと思いつつながら、先日のIMで深澤隆会員からも勉強をいただきましたが、何が出来るかという、日常接している方々のメンタルヘルスが低下しないように、個人としてはすぐできることなのかなと思いつつながら読ませていただきました。

P 7 地域社会の経済発展。若者の自立を促す支援の形。これは3つのステップから成っていて、これは児童養護施設の話です。学ぶ、知る、行動するという3つのステップで紹介されています。要約すると児童養護施設の方々は社会と接する機会が高校生まであまり少ない。その中で就職したり進学したりするのですが、何と進学している方は40%くらい、就職した方は60%いるようです。就職された方は半数が離職しているという現状にあります。

高校生の有効求人倍率は直近で3.49倍。本当に売り手市場になっている中で、そういった人材をしっかりと地域に根差した企業がちょっと支援しながら自立化支援をしていくことが地域社会発展につながるのではないかということを書いています。そういった意味でNPO法人の方の長岡さんが最後に締めているのが社会奉仕、職業倫理あるいは職業奉仕といったところを重んじるロータリークラブの企業さんに何とか手

を差し伸べてくださいということで書かれています。

P 10～P 12 実際にそういった施設で過ごしてきた方の今までの人生を綴ったものが書かれています。両親の離婚、あるいは虐待がその施設に入るきっかけになったということが書かれています。ここではしゃべれないようなことが幼少期にあったようです。ブローハンさんは11才まで無国籍のまま過ごし、11才で施設に入った。今は立派にコンパスナビという会社の事務局長をされています。ロータリークラブの皆さんには生きづらさを抱えている若者たちに思いを馳せていただくと、本当にありがたいです、と述べています。

平成11年あたりが児童虐待に関する相談件数が6,932件だったのが、直近の令和3年になると20万件と約30倍。こどもが減っているのに相談件数が30倍。時代によってもしかすると奉仕する先や支援する先が変わってくるのではないかと思った次第です。

P 12 大宮東RCのローターアクトの女性です。この人は両親の離婚をきっかけに施設に入った方ですが、今は立派に社会人として活躍されています。ちなみに子供の頃はロータリアンの方とキャンプや焼肉などの経験をして、今は社会人になって奉仕活動をしたということでローターアクトを続けているそうです。またP 13には大津中央RCで実際に行っている活動も載っていますのでお読みください。

P 15 米山月間ということで米山学友世界大会再会感動。つくばで8月5日に行われたそうです。参加者は1,200人くらいで過去最高。記事の中身は当日ということが行われたことがP 16～P 17に書いてあります。ロータリアンがファシリテーターをやって、5人の学友が1,200人の前でパネルディスカッションをやった。学友会の存在意義とは？という問いに対しては居場所、家族のような存在、恩返しの場合という回答があり、改めてロータリー米山の事業は尊いものだと思います。

P24～P25 すごくきれいな町の風景が載っています。これはシンガポールです。左奥にマリナーベイサンズという屋上にプールのあるホテルです。1泊8～10万くらいだそうです。この記事は来年2024年ロータリーの国際大会の場ということで、シンガポールを紹介する記事になっています。じっくり読むとおもしろいので、ぜひ読みただければと思います。P26～P27で、行くたびにシンガポールは変わっていると言っています。過去3回行ったことがありますが、今年5月に行ってみたらシンガポールの顔が変わっている。何で変わるのかと思いながら読ませていただきました。

自然に囲まれた町。ヒートアイランド現象を抑えるために国が造園や屋上に植物を植えたり、屋根や壁を庭園のようするのを義務化している。大学のときにシンガポールにいきたいと思って、きれいな街のイメージしかもっていませんでしたが、よくよく調べてみたらガムの製造販売、持ち込み禁止。仮に持ち込んだら罰金10,000ドル（今の日本円で150万円）。街でタンや唾を吐いても1,000ドルの罰金。だからああいった道路も街並みもきれいなのかなと思ひながら読みました。

多文化が会おう街。いろんな人種、ロータリーでもDEIと言っていますが、多様性あふれる街だということです。ネットで

調べたら国是は「みんな仲良くしよう」。いろんな文化が融合して新たな文化を作るよりは、それぞれの生い立ちやそういった文化、宗教などを尊重しようというような国だそうです。ぜひ行ってみたいと思ったのでご紹介しました。

縦書きP16 読むと心が現れる記事が載っています。「目だけがものを見る方法ではない」

福岡南RCの記事ですので、後でご覧ください。

P18 友愛の広場 大会や会合のスリム化で経費の軽減を 極論ですが、食事がけっこ無駄になっているので、豪華な食事をしないで会費を減らして、質素でもいいから無駄にしないようにしたほうがいいのではないか。これを見ながら9月13日の例会のときに、実は食事が12くらい余りました。本日も4つ余っています。わたしは出席委員会ですので、ご都合があつて欠席のときもあろうかと思いますが、事前にご連絡いただくようお願いしたいと思います。

P36 2830地区の記事が1ページを使って紹介されています。「ロータ君活躍中です」築館ガバナーの良きアシスタントとしてロータリーの公共イメージ向上のためにがんばっています。皆さん記事をお読みください。ロータ君は4月1日に初登板だそうです。

出 席 報 告						出 席 委 員 会		
第3288回例会（10月4日）			第3286回例会（9月20日）					
出席率		48.4%	出席率		55.7%	修正出席率	64.5%	
総会員数		64名	出席数		30名	メイクアップした人数		6名
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	出席義務会員	出席免除会員	欠席数			
62名	2名	32名	61名	3名	22名			